

35歳で救急救命士になろうとしていた私

吉田 由理 (帝京平成大学4年)



進路変更を決断できない私

高校を卒業して看護師免許を取得しましたが、現場で様々なことを学んでいくうちに救急救命士という仕事に出会い、魅力を感じました。患者さんが病院に搬送される前から様々な処置や医療行為ができれば、救われる命はもっと多くなるのではないかと考えたからです。

看護師という免許をもっと使いこなしたいという気持ちと、もっと多くの患者さんを救いたいという気持ちがぶつかりあい、資格取得に必須のアドヴァンストコース、「大学受験」という途に再び私を

導きました。29歳のときでした。最初の年で合格はできたものの、現場を離れることの怖さや同級生となる若者達との年齢差を考えると職場を離れることができなくなり、一度目の受験で折角合格したものの進路を左右どちらにも切れない自分がいました。

しかし、どうしても学びたいという気持ちが強くなり二度目の受験をしてしまいました。去年合格できたから今年も合格できるという保証はどこにもなかったため、毎日が緊張の連続だったように思われます。しかし、そのときは、「今度は合格でも不合格でもこれっきりにしよう。今年限りでやめよう」と決心して臨みました。結果は、見事『合格』でした。

正社員からアルバイトへ… いろいろ思うこと

気持ちの整理と覚悟が整い、31歳で大学に入学しました。

久しぶりの学校生活はとても新鮮で学

ぶことそのものに対して感謝する自分がありました。現役ではきつとこんな気持ちにはなれなかったろうし、気づかないこともたくさんあったと思います。

少しオーバーに言えば、たった一度の人生で二度も学ぶチャンスを得いたわけですから、この学びを決して無駄にはいけないと肝に銘じています。

学費などはすべて自分の責任でやりくりすることが条件だったため、アルバイトをしながらの大学生活が始まりました。長い間正社員でしか働いたことのない私は、「アルバイト」という働き方についても様々なことを勉強したと思います。看護師時代は「お金よりも時間や休みが欲しい」などどつづぶやくことが多かったように思いますが、収入が「ゼロ」になり、お金の大切さも身にしみるようになりました。学校生活、バイト、すべてにおいて、やりたいことに向かっている毎日がとても充実していました。

しかし、楽しいことばかりではなかったと思います。

仲間との差を乗り越えての 救命救急士への途

救急救命士への道のりは看護師と同様、坐学だけではなく実技やチームを組んでの試験があるため、コミュニケーションと協調性が求められます。また、自分だけ理解していてもチームワークができていないと乗り越えられないような課題もあります。夜遅くまで実習室で話し合い、



ドクターヘリと仲間達

シュミレーションを何度も繰り返すなど大変な時期もありました。

でも、一つ一つ乗り越え、頑張る自分もいました。

頑張れたのは、自分の決意や覚悟があったことも大きいですが、大学で出会った仲間達が私を支えてくれたからだだと思います。同じ目標を持ち、苦楽を共にするということはなかなかできない経験でもあります。特に、私には、年齢

差、職業経験など同じ集団を構成する仲間たちとは良くも悪くも、ハンディがあり、人間関係に少々苦戦することもありましたが、そんな壁は実習を通じてどこかへ吹き飛んでしまったように思います。

現在大学生活も4年目に入り、残りの大学生活は国家試験という大きな目標が控えています。試験を受けるのは個人戦かもしれませんが、そこに出席される問題一つ一つは、実習やシュミレーション教育で学んだものがたくさんあります。今の自分がいるのは仲間や支えてくれた先生の力だと思って頑張ります。

意味があった長期途中下車

入学当時、4年間は長いと感じましたが、振り返ってみると不思議とあっという間だった気もします。やるべき目標とやりこなしたいという自分が常にそこに居たからだだと思います。4年間という途中下車が意味ある4年間といえるように残りの大学生活を精一杯過ごし、来年の4月には笑顔で患者さんと接している自分がいる。

私が、看護師として、救急救命士として活躍できる日まで、1年を切りました。今は、何としても合格したいという気持ちに日に日に強くなり、ひたすら国家試験の勉強に打ち込む毎日です。

勉強は「救急」という命に直結する学びばかりでくじけそうなこともあるが、「やろう！」と決めたことを最後までやり通し、ベストを尽くしたいと思っています。

今は、勝手に退職し、突然の学校生活を始めた私を見守り、支え続けてくれた両親に感謝の気持ちで一杯です。

《プロフィール》

父が岐阜市出身。岐阜は第二のふるさと
看護師免許を取得後、大学病院と日本赤十字社勤務
帝京平成大学に再入学、救急救命を学ぶ。